

# ことり新聞

August  
2023.8.4  
Vol.123



## 看護部長

「寄り添う看護」とは!!! 院内外を問わず、この言葉を多く耳にします。

寄り添う看護とは、どのような看護をイメージされていますか。

少し、調べた中には、①患者がどんな人物かを把握する。②患者の家族と家庭の雰囲気把握する。③患者の気持ちに共感する。④患者との信頼関係を築く。⑤変化に気づき、柔軟な看護をする。⑥患者とその家族の意思をくみとって配慮する。⑦退院後の生活を想像する等がありましたが、これはほんの一場面です。

自分が寄り添った看護をしたと思っていても、患者・家族からそう思われなかったら、それは寄り添った看護なのかどうかです。



私の中で、忘れられない患者さんの言葉があります「優しい看護師さんがトイレ介助をしてくれると全く痛みを感じない。そうでない人の介助は、体に看護師さんの手が触れただけでも痛い」と言われました。  
**患者・家族にとって、優しさが伝わった時、寄り添った看護が展開されていると確信しています。**



## 8月研修

- 7/19~9/1日 感染対策デイスポ手袋装着
- 4日 法人新任課長研修
- 8日 卒I「医療安全対策」
- 9日 法人介護職「指導者育成」  
排泄ケアスペシャリスト
- 15日 卒I「オムツ交換」
- 17日 法人新任主任研修
- 24日 法人「意思決定支援研修」
- 25日 褥瘡スキンケア・ポジショニング
- 26日 法人看護次・長師長研修



## 8月行事

- 7/25~3日 摂南大学実習
- 15日 インターンシップ受け入れ
- 21~31日 大阪医療看護専門学校実習



今月のキーワードは **を語り**



## 臨地実習指導者検討会

リーダー 東4階 看護師長

日々忙しい中、看護学生の実習を受け入れてくださり有難うございます。前年度までは、コロナ禍で実習中止や見学実習と制限のある実習でした。今年度からは、まだ少し制限はありますが、患者さんと触れ合う実習が再開しています。学生からは、座学だけでは学べなかった臨床ならではの学びがあり、また看護観を深める機会となったという声も聞かれ、皆さんの熱心な指導のおかげで実りある実習が経験できています。今回、検討会として指導者の育成にも力を入れたいと考え、**4回シリーズの研修**を企画しています。参加者の方には、指導の基礎知識や授業デザインを使用した指導案の作成を学んでもらい、ぜひ今後の学生や後輩指導に活かしてもらいたいと思っています。



## 皆さん、看護研究してますか？

西2階 看護師

研究との出逢いは大学の卒論まで遡ります。当時の僕は「素敵な夫、パパになりたい！」と父親の育児に関する研究を行いました。そこで得た興味深い結果の1つが、

Q. 育児における父親の役割とは？

- A. 父親 → 1位：オムツ交換 2位：家事手伝い
- 母親 → 1位：妻の良き理解者 2位：子供の遊び相手



どちらも間違いではありませんが、ものの見事に乖離が生じています。パートナーに対する育児不満が離婚、最悪の場合幼児虐待を引き起こしえると言われています。

上記などの結果を大学病院や幼稚園・保育園に配布したところ

- 妻：あんたこの研究見てみ！ 夫：こんな育児言わんやろ！
- 妻：何言ってるの 1番大事やんか 夫：お前もそう思うんか？
- 妻：当たり前や！



といった具合に妻の気持ちを代弁する形となったと感謝のお手紙をいただきました。ひょっとするとこの研究が1つの家族を救ったのかもしれない。

このように研究とは我々が普段行っている対象者をより良い状態にするために行うケアの1種です。そして研究結果の積み重ねが最良のケアにつながります。少しでも興味のある方は気軽にご連絡ください。

6月 新規褥瘡発生 8人

(7月褥瘡予防対策委員会より)